

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員10名に対して、指導訓練室等のスペースが31.88㎡あり、基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			有資格者を含む常時6～7人の職員を配置しており、十分に基準を満たしている。
	③	職員の専門性は適切ですか	○			児童福祉分野での実務経験のある有資格者(保育士・児童指導員・教員等)を複数配置している。社会福祉主事任用の資格取得や行動援護支援者研修受講も積極的にサポートしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			非常勤を含めた職員で日々のふり返りをし、支援の目的や手立てを常に共有・相談している。PDCA以前のS(=see)を大切にしている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			外部評価アンケートを実施し、職員間で分析し、課題を共有後7、改善に向けた話し合いをしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			(一社)日本発達障害ネットワークの認証制度を申請し、第三者評価を実施している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			非常勤を含めた職員全体に対して、法人内外の研修に積極的に参加できる環境を整えている。研修内容もバランスよく体系化している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			独自のアセスメントシートを活用し、半年ごとに個別支援計画を作成し、保護者面談を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			診断書や検査結果を保護者から提出してもらっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			木子里グループ3施設合同の保育会議を定期的に開催し、プログラムの検討や実践交流を行っている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			常に児童が意欲的に楽しく活動に参加できるように、新しいことに挑戦するワクワク感と継続する安心感のバランスを考えたとて年間計画・月の予定を作成し、一つの活動が次につながるよう応用発展させている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休業中は、遠方へのお出かけや、デイキャンプなどを開催している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			グループワーク活動を中心として、一人一人の課題にも寄り添えるように配慮している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日案を作成し、常勤、非常勤を含め打ち合わせ時に確認している。

⑩	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			個人記録ノートを記入し、業務終了後に非常勤を含めて振り返りを行っている。
⑪	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、個人ノートを記入し、保育の打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している
⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有検討し、内容の見直し
⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題としている

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		当法人で運営している相談支援事業所と密に連携し、担当者会議には管理者が参画す
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		理学療法士や医師と児童のことについて、相談できる関係ができています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談センターや保健センターなどと連携を取りつつあります。
	㉔	子校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ場での支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行のケースは発生していないが、来年以降、スムーズな移行のために積極的に連携してまいります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門研修を受講している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○		今後は当法人が運営する児童クラブとの合同行事の開催を考えている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		所沢市自立支援協議会こども部会・相談支援部会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送り時を利用して、家庭での様子、施設での様子を共有している。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にすべて説明し、保育的な活動方針も配布している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡ノートなどで把握し、必要に応じて話を聞く時間を設けるようにしている。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		毎年、カフェやアートワークショップなど保護者が参画できる取り組みを行っている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情が発生した時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		長期休みには機関の予定を作成し、情報を伝えている。ホームページでも活動概要を
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		データや個人情報は鍵付キャビネットに保管している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から思いを読み取るように努
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の親の会と共催でサマーコンサートを開催した。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時の対応については保護者へ案内し、ホームページでも公開している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○		月1回避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止規程を作成し、職員へ周知するとともに、社内研修も実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束禁止規程を策定し、職員へ周知している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書については保護者を介してもらっている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		日々の保育記録に記載するようにしている。他施設の情報についても共有している。